

平成30年2月19日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田中 勝英
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、「第3回 ACAP消費者志向活動表彰」を受賞

～ベストシニアサービスの取組みが高く評価されました～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田中勝英）は、公益財団法人消費者関連専門家会議（ACAP）が主催する「第3回 ACAP消費者志向活動表彰」において、「消費者志向活動章」を受賞しましたのでお知らせいたします。

当社は平成26年より、「シニアのお客様に最もやさしい生命保険会社になる」ことを目指して「ベストシニアサービス（BSS）」をスタートし、シニアのお客様の利便性向上に向け、サービス・商品・制度・帳票・ホスピタリティ等あらゆる面を「シニアのお客様視点」で見直し、改革・改善に取り組んできました。

消費者志向活動表彰とは、消費者志向経営の推進またはこれを支援する観点から、称賛に値する企業・団体を表彰するものです。

この度、消費者庁、一般社団法人日本経済団体連合会の後援のもと、消費者関連団体、行政、事業者団体、有識者で構成する選考委員会による選考の結果、当社の「ベストシニアサービス」の取組みが、「超高齢社会を迎えたわが国において意義深い」活動として高く評価され、「消費者志向活動章」を受賞しました。

当社は、これからも「ベストシニアサービス（BSS）」をさらに進化させ、お客様により質の高いサービスをご提供できるよう取り組んでまいります。

【ベストシニアサービスの取組み】

- ・専門知識を有した内務員がお客様を直接訪問し、お支払い手続きをサポートする『かけつけ隊サービス』
- ・簡単に迅速なお支払いを可能にする『給付金のペーパーレス手続き』
- ・シニアのお客様への年1回訪問サービスの実施
- ・認知症による所定の状態を保障する『ひまわり認知症治療保険』の開発
- ・『認知症サポーター』^(※1)の全事業所への配置
- ・『認知症予防アプリ』^(※2)の開発
- ・TV電話を活用した契約内容・意向確認

【ACAP消費者志向活動表彰受賞のポイント】

- ・「商品開発から加入時・契約継続中の手続き、従業員教育等、あらゆる面をシニアの視点から見直し、満足度向上を目指す取組みは、超高齢社会を迎えたわが国において意義深い。」
- ・「認知症を対象としたサポーター配置や予防アプリ開発など独自の取組みも多く、対象者や介護者の意見を活用したきめ細やかな活動とその実績を評価したい。」

以上

(※1) 「認知症サポーター」は、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対し、できる範囲での手助けをする人であり、厚生労働省が推進する「認知症サポーターキャラバン事業」における「認知症サポーター養成講座」を受講・修了した者を称する名称です。

(※2) 歩行速度を継続的に測定し、将来の認知症・MC I（軽度認知障害）のリスク予兆を検知する国内初のスマートフォンアプリです（スマートフォンで歩行速度の変化を測定し、認知症・MC I（軽度認知障害）の予防につなげるアプリは国内初となります。（株式会社 InfoDeliver（アプリ開発・運営会社）調べ）。



【ご参考】

公益社団法人消費者関連専門家会議（ACAP）は、企業や団体のお客さま相談部門の責任者・担当で構成する組織として、1980年（昭和55年）の設立以来、企業の消費者志向経営の推進、消費者対応力の向上、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動、交流活動等を行っています。

英文表記のThe Association of Consumer Affairs Professionalsの頭文字をとり、ACAP（エイキャップ）の名前で親しまれています。